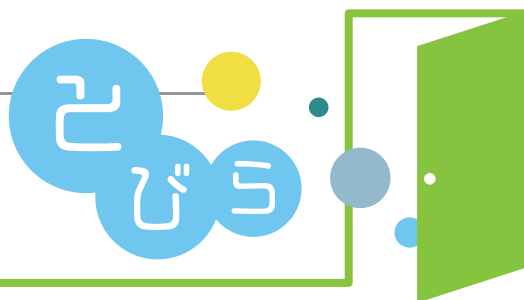




特集《意見交換会》 — 市民の声を聞きました —

柏崎市議会だより

ギカイの



No.199 令和7(2025)年2月5日 発行

今回の表紙

意見交換会を終えた全議員

ご参加いただいた皆さん、ありがとうございました。
(場所 産業文化会館)

もくじ

■ 特集《意見交換会》	P2・3
■ 委員会審査報告	P4・5
■ 先進地を視察しました	P6
■ 一般質問	P7～10
■ 政務活動を行いました	P11～14
■ ギカイのうごき	P15
■ 2月定例会議の予定 ほか	P16



特集

10月15日に産業文化会館で実施しました

市民の声を政策提言へ

《意見交換会》

令和5(2023)年度秋と令和6(2024)年度春の2回にわたり、委員会の調査・研究に沿ったテーマで意見交換を行ってきました。今回は12月定例会議での報告を前に、経過報告に対して意見を頂きました。経過報告の内容や意見に対する委員会の対応など、詳細は意見交換会のホームページをご覧ください。意見は政策提言(15ページ参照)に活用するとともに、市の担当部局と共有しました。議案審議など、今後の議会活動にも役立てていきます。

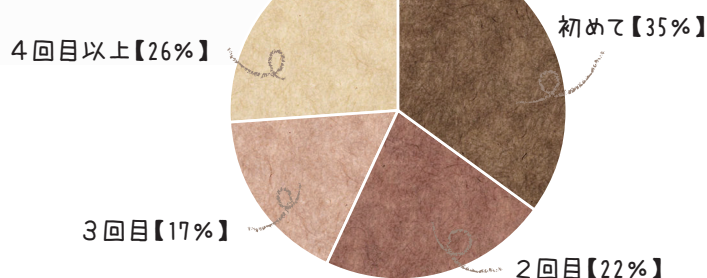
意見交換会



調査・研究と
政策提言



参加回数のグラフ



テーマ

1

持続可能な地域公共交通 | 総務常任委員会

- 長岡への通学時に電車を利用する学生もいるので、信越本線を維持してほしい。
- 雨天や風雪時でも過ごしやすいようバス停を整備し充実させて利便性を上げてはどうか。
- 「あいくる」の乗客が増える分、路線バス等の利用者が減り、経営が厳しくなるのではないかと。それぞれ残せるようバランスを保つべきだと思う。
- 「あいくる」は乗りやすいが、混雑して予約が取れない時がある。
- 「あいくる」の運行を土日・祝日にも拡充してほしい。
- 地域内交通にしま号が再編によりどう変わったのかわかりにくかった。
- 運転士の育成支援として大型二種免許を取りやすくしてはどうか。
- 空き家、運転士の資格取得、仕事を提供する「ドライバー移住」を市として推進してはどうか。



▲テーマ1 Aチーム



▲テーマ1 Bチーム

テーマ
2

子どもを取り巻く環境の充実 | 文教厚生常任委員会

- 旧校舎の利活用として、子どもの教育や地域活動に建物を活用していただきたい。
- 引きこもる子どもが多い。先生の理解や地域イベントへの積極的な参加を促す。
- インクルーシブ教育の環境づくりのために教員や補助員の充実が必要ではないか。
- 子どもに対する事件・事故防止のため、登下校時の安全・安心対策を望む（例として防犯ブザー、防犯ガイドブックを全員に配布など）。
- 不登校の子どもに関する柏崎市の現状と要因を知りたい。
- 不登校の子どもたちと精神科などの医療機関との連携による成果はあったのか。
- 市として婚活事業に力を入れてほしい。



▲テーマ2 Aチーム



▲テーマ2 Bチーム

テーマ
3

産業支援の在り方 | 産業建設常任委員会

- 最低賃金が上がったが販売価格に上乗せしにくいいため、小規模事業者向けの支援が必要である。
- 穴埋め的な支援（補助金）が多くあるが、明日につながる支援が必要である。
- 個人事業者がグルテンフリー（食品）の新商品開発に取り組んでいるが、行政の支援があるのかが分からない。
- 農業者の高齢化が進む中、新規就農者や規模拡大に対して補助があるが、現状を維持するための補助が必要である。



▲テーマ3

令和6(2024)年12月定例会議常任委員会での審査内容を報告します

総務常任委員会

■委員長 佐藤正典 ■副委員長 近藤由香里
■委員 布施 学・山本博文・持田繁義・佐藤和典・星野正仁

4件の議案を審査しました。

- 公の施設の指定管理者の指定について（コミュニティセンター）

概要

26地区のコミュニティセンターの令和7（2025）年度から5年間の指定管理者に、各地区のコミュニティ振興協議会を指定する。

主な質疑

- Q 指定に当たり、各コミュニティ振興協議会の課題をどのように捉え、どう対応するのか。

- A それぞれ人材確保に苦勞しながら持続可能性を模索している。社会情勢の変化と地域の将来を見据えて、指定管理期間を10年間から5年間に変更した。規模の大小に関わらず、職員の人件費や活動費の補助は同等に配分し、各地域のコミュニティ活動を支援していく。

文教厚生常任委員会

■委員長 春川敏浩 ■副委員長 五位野和夫
■委員 星野幸彦・三嶋崇史・西川弘美・重野正毅・上森 茜

3件の議案を審査しました。質疑はありませんでした。

- 地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に必要な基準を定める条例の一部を改正する条例

概要

省令施行に伴い、地域包括支援センター職員の柔軟な配置を可能とするための改正。

- 市立児童クラブ設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

概要

荒浜児童クラブを荒浜小学校敷地内に移設するための改正。

- 市立保育所条例の一部を改正する条例

概要

安田保育園を閉園し、令和7（2025）年度から田尻保育園に統合するための改正。

産業建設常任委員会

■委員長 阿部 基 ■副委員長 田邊優香
■委員 山崎智仁・池野里美・三宮直人・相澤宗一・真貝維義

2件の議案を審査しました。質疑はありませんでした。

- 公の施設の指定管理者の指定について（田島活性化施設）

概要

田島活性化施設の令和7（2025）年度から4年間の指定管理者に、引き続き田島町内会を指定する。

- 市道路線の廃止について

概要

道の駅「風の丘米山」再整備事業計画の見直しに伴う柏崎16－92号線の廃止。

YouTube
録画映像

審査結果

予算決算常任委員会

■委員長 重野正毅 ■副委員長 持田繁義

※分科会長・副分科会長・委員は、各常任委員会の委員長・副委員長・委員と同じ。

令和6(2024)年度一般会計補正予算(第12号)など、11件の議案について審査しました。

総務分科会

令和6(2024)年度一般会計補正予算(第12号)

・常備消防一般管理費(665万4千円)

概要

令和7(2025)年度新採用職員の防火防護服、装備品、制服などの被服一式を購入する経費。

主な質疑

Q 購入数が増えた理由は。

A 当初予算で2人分の購入を見込んでいたが、警防体制の強化による増員や育児休業予定

者2人の代替、退職予定者の補充などにより、合計13人分を購入する。消防職員数としては2人増員となる。



文教厚生分科会

令和6(2024)年度一般会計補正予算(第12号)

・学校給食費(1269万7千円)

概要

食材料費などの高騰が続く中、年度途中で保護者負担を増やすことなく、質や量を保った給食を提供するための増額。

主な質疑

Q 増額補正する理由は。

A 物価高の長期化により、小・中学校の給食

単価が設定単価を大きく上回っていることに加え、11月から主食米が一食当たり小学校5.59円、中学校7.98円の値上げとなった。これにより予算不足が確実となったが、給食内容を変更せずに、安全・安心、良質な給食を提供するため。

産業建設分科会

令和6(2024)年度一般会計補正予算(第12号)

・漁港整備補助事業(0円)

荒浜漁港^{しゅんせつ}浚渫工事(△3150万円)

笠島漁港^{しゅんせつ}浚渫工事(3150万円)

概要

笠島漁港しゅんせつ工事を1年前倒しで実施するための予算組み替え。

主な質疑

Q 予算を組み替える理由は。

A 荒浜漁港の一部が補助対象外となったため、笠島漁港の工事へ切り替えた。

Q 補助対象外となった理由は。

A 令和6(2024)年度の申請に、令和5(2023)年度しゅんせつ済み部分も範囲に入っていたため。

先進地を 視察しました



柏崎刈羽原子力発電所に関する調査特別委員会

■ 10月21日(月)～22日(火)



大洗研究所

学んできたこと

- 高温ガス炉や高速炉による次世代原子炉の将来性
- 原子力防災・緊急時の防護対策・人材育成など

特別委員会の活動



ここに注目！

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構大洗研究所

高温ガス炉H T T Rは世界最高温度950℃の達成、原子炉出力100%から静定に至る安全性の実証などの成果を出している。高速実験炉「常陽」はO E C D諸国の唯一稼働可能な高速炉であり、発電用原子炉、新型炉、核融合炉の開発やR I製造などの産業利用に役立ってきた。福島第一原子力発電所の廃止措置などに向けた研究開発も行っており、次世代原子炉の研究と廃炉技術の確立に期待する。

原子力緊急時支援・研修センター（NEAT）

原子力災害対応に当たる国、地方公共団体、警察、消防などに対して人的・技術的支援を効果的に行う活動拠点である。さらには、防災情報システムや緊急時放射線モニタリング情報システムを活用し、原子力施設、原子力艦のほか、海外の原子力災害、北朝鮮の地下核実験などにも対応している。さらなる支援体制・人材育成の強化が望まれる。

■意見書1件を可決しました

12月5日の本会議で、委員会発案で提出された「北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書」を全会一致で可決しました。

意見書
(PDF)



■会議録の閲覧・検索ができます

柏崎市議会会議録検索システムで、会議録を検索・閲覧することができます。

- 本会議
平成5（1993）年6月定例会以降
- 委員会
平成13（2001）年以降
- 議会全員協議会
平成8（1996）年以降

会議録



■ウェブサイト・無料アプリで「ギカイのとびら」を読むことができます

パソコン・スマートフォン・タブレットで、手軽に閲覧できます。

ウェブサイト・
無料アプリ



■点字訳・音声訳の「ギカイのとびら」を配布しています

お申し込みは福祉課へ。

TEL 0257-21-2299

FAX 0257-21-1315

点訳・音声





一般質問とは

皆さんの暮らしに関わる大切なことについて、議員が市に対して質問する場です。
あなたはどんなことに興味がありますか？

質問項目



地域公共交通



近藤由香里

Q 夜間のタクシー不足解消に向けた新たな取り組み

A 交通事業者への支援を検討するとともに、日本版ライドシェアの研究を進める

質問 夜間のタクシー不足に対して、日本版ライドシェアなど民間活力を主体とする新たな取り組みを検討・研究してはどうか。

回答 タクシーを含む運転士不足は地域公共交通全般の課題であり、確保に向けた交通事業者への支援を検討するとともに、先進事例を参考に、一般ドライバーを活用する日本版ライドシェアなどの研究を進める。

他の質問 持続可能な医療・介護の実現に向けて ほか



動画でチェック

まちづくり



佐藤和典

Q 人との関わりにスポットライトを当てた観光戦略を

A 人を前面に出した観光とシビックプライドが醸成されるまちづくりを推進する

質問 観光戦略は、店や物、食だけではなく、それに関わる人にスポットライトを当てたストーリー性を前面に出してはどうか。

回答 観光資源は、それらをつくり、育み、守り、磨くなど関わる市民の存在が必ずある。観光協会と連携し、人をできるだけ前面に出し、観光誘客の促進とシビックプライドの醸成が図られるまちづくりを推進する。

他の質問 部活動は地域移行ではなく地域展開として捉えるべき



動画でチェック

高齢者福祉



春川敏浩

Q 老人クラブの在り方と高齢者の居場所づくり

A 高齢者の生きがいがづくり、地域での高齢者活躍の場創出を支援

質問 老人クラブ数が減少傾向にある。活力あるシルバー世代へ向けた施策が必要と考えるが、老人クラブの実態はどうか。

回答 高齢化が進む中、高齢者のコミュニティづくりや地域の活動は重要な役割を担っている。老人クラブはもとより、コツコツ貯筋体操やくらしのサポートセンターなどの活動や事業に必要な支援を検討していく。

他の質問 柏崎市第六次総合計画策定における市民アンケート結果 ほか



動画でチェック

道徳教育



Q 若者を犯罪から
守るための道徳観の
教育をどう考えるか

A 道徳的判断力など、人とし
ての道徳力を学校教育で醸
成していく

質問 子どもが正しく善悪を判断できる心の
育成は、一義的にはそれぞれの親による教育
が第一であるが、学校教育の中でも率先して
学習させるべきと考えるが。

回答 闇バイトの危険性についても注意喚起
している。道徳教育・情報モラル教育の充実
や家庭・地域と連携した啓発活動に取り組
み、子どもの健全育成に努めたい。

**他の
質問** 自転車による交通事故対策



動画でチェック

行政事務



Q 市民への周知な
ど、改正戸籍法への
対応

A 戸籍への氏名振り仮名記載
を市民が正しく理解できる
よう、事前に周知する

質問 令和7年5月の改正戸籍法施行後に、
本籍地の市区町村から通知書が送付される。
市民への周知など、市の取り組みは。

回答 戸籍に氏名の振り仮名を記載するこ
とは、すでにホームページに掲載している。今
後は、広報かしわざきへの詳細な記事の掲載
や市民課窓口でのチラシの配布などで、市民
への周知に努めていく。

**他の
質問** スポーツ、文化活動の振興に係
る現状の対応と基金創設 ほか



動画でチェック

教育



Q 教育大綱の改定
が必要な時期

A 基本理念は変える考えはな
いが、重点施策などの見直
しを検討していく

質問 前回の改定から5年がたつ現在の教育
大綱は、改定が必要だと考える。

回答 基本理念「賢く、元気に、一層豊かに」
「現実を見つめ、理想を求める」「自分を大切
に、人に思いやりを」を変える考えはない。
ここ5年の教育を取り巻く大きな環境変化と
今日的課題を踏まえ、重点施策などの見直し
を今後検討していく。

**他の
質問** 学区再編の考え方



動画でチェック

エネルギー政策



Q 市長選でエネル
ギー政策が争点とな
らなかった

A 政策議論ができず、非常に
残念。柏崎にとっても大き
なマイナス

質問 今回の市長選挙で、エネルギー政策が
争点とならなかったことへの受け止めは。

回答 市政の課題に対する政策を互いに掲げ
議論し、市民の判断を仰ぐ選挙を望んだが、
議論すらできず非常に残念。柏崎にとっても
大きなマイナス。有権者にとっても不幸な選
挙だった。

**他の
質問** 柏崎市の認知症高齢者対策



動画でチェック

農業政策



Q コメ作りにおける家族農業の重要性

A 兼業農家も重要な担い手であり、継続に必要な施策を講じていく

質問 農村環境の維持や整備を担う重要な役割を持つ、小規模農家の位置付けと支援をどのように考えているか。

回答 兼業農家も農業の重要な担い手として位置付けている。令和4年度は物価高騰、令和5年度は高温渇水に対して緊急的な支援も行った。軽微な農地整備の費用を支援し、生産の向上と経営の安定化を図っている。

他の質問 地域医療の確保に関わる課題



動画でチェック

観光



Q 水源地の再整備

A 観光、教育的観点からも整備を進める

質問 「水源地」の名で知られる川内ダムは柏崎の3つの水道専用ダムで一番古く、かつては観桜会の名所としてにぎわっていた。観光資源の一つとして、水源地の再整備をしてはどうか。

回答 水源地は後世に引き継ぐべき貴重な財産である。本来の役割を守りながら観光・教育的観点からも整備を進めていきたい。

他の質問 柏崎で出産ができる環境の維持ほか



動画でチェック

投票環境の改善



Q 誰もが投票しやすくなるための合理的配慮

A ご不便をかけた方に対してはおわびする。障がいの特性を理解し改善していく

質問 聴覚に障がいのある方が投票所で困ったが、筆談具がなく諦めたと言った。全ての投票所に筆談具やコミュニケーションボードなどを設置すべきではないか。

回答 投票所においてご不便があったことは、率直におわび申し上げる。筆談具やコミュニケーションボードの設置などを検討し、投票環境の改善を図っていく。

他の質問 若者や子育て世代の声を生かしたまちづくり



動画でチェック

まちづくり



Q コンパクトシティの実現に向けた立地適正化計画の推進

A 都市機能誘導区域・居住誘導区域への誘導で、持続可能なまちづくりを目指す

質問 将来の人口減少に適応したコンパクトシティの実現には、市民の理解促進と市の全庁的な連携体制が必要ではないか。

回答 立地適正化計画はおおむね5年ごとに評価・分析し、空き地・空き家の有効活用や若者・子育て世代のまちなか誘導施策を取り入れ、見直ししながら進めている。計画の目的や進捗状況の情報発信にも努めたい。

他の質問 櫻井市政が目指す柏崎市の将来の姿 ほか



動画でチェック

出産の環境



山崎智仁

Q 妊娠・出産時の
分かりやすい行政手
続き

A 妊娠時に出産後の手続きを
案内している。窓口対応な
どを工夫する

質問 妊娠時に配布物やウェブなどで支援の概要と連絡先は分かるが、出産後は産婦の体調、時間的制限や代理での不備に備えて、ワンストップ窓口や所要時間を事前に案内できる体制を取れないか。

回答 現在、本庁舎1階で一連の手続きができる。健康保険の状況などで変わるが、手続きの目安時間の伝え方を検討する。

他の質問 地域生活圏形成、観光における広域連携の現状の課題と今後



動画でチェック

地方創生



持田繁義

Q 「地方創生」の
現状と柏崎市の実態

A 「柏崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げた目標に届いていない

質問 「地方創生」の大きな目標である合計特殊出生率の向上と東京一極集中の是正は、むしろ悪化しているのではないか。

回答 重点プロジェクトの5つの最重要業績評価指標（KPI）のうち、転出と転入の差、合計特殊出生率、出生数の3つは計画当初の値より悪化しており、計画期間中の目標達成は難しいと考える。

他の質問 原子力発電所・国のエネルギー政策に関する問題 ほか



動画でチェック

医療



布施 学

Q 医療センターを
守るための近隣自治
体との連携

A 県のリーダーシップで関係自治体が一丸となって取り組む必要がある

質問 柏崎総合医療センターを守り抜くための支援は、財政支援を含め柏崎市単独では厳しい。刈羽村や近隣自治体との連携についてどのように考えているか。

回答 経営危機を乗り越え持続可能な医療提供体制を構築していくためには、県がリーダーシップを取り、関係自治体が一丸となって取り組んでいく必要がある。

他の質問 地域懇談会から見える課題の対応 ほか



動画でチェック

子育て施策



真貝維義

Q 令和7年度の子
ども・子育て施策の
拡充と展開

A ニーズに対応した子ども・子育て支援施策の展開を検討

質問 国が進めるこども未来戦略「加速化プラン」に対応した市の事業展開は。

回答 児童手当は10月から、児童扶養手当は11月から拡充した。出産・子育て応援交付金事業は令和5年1月に開始している。令和7年度から試行する「こども誰でも通園制度」など、ニーズに対応した展開を検討する。

他の質問 柏崎総合医療センターの維持と地域医療体制の確保 ほか



動画でチェック

政務活動を行いました

柏崎市議会の政務活動費は会派(通常は所属議員2人以上で結成)に対して交付されます。

令和6(2024)年度の政務活動費を使った主な活動



社会クラブ・柏崎のみらい連合

■ 5月1日(水)～2日(木)



夜ノ森桜二丁目(福島県楡葉町)

活動内容

- 福島震災情報連絡センター主催研修会、被災地スタディツアー(福島県いわき市、双葉郡)

社会・みらい
連合



福島原発事故後の現状について状況把握

研修会では事故後の現状を把握することができた。また、柏崎刈羽原発をめぐる情勢(星野幸彦)と柏崎刈羽原発UPZ議員研究会の活動(佐藤正典)について報告した。研修の後には、参加者間での意見交換会に参加した。

スタディツアーでは、事故後の被害状況や復興状況についての調査を行った。

原子力発電所の課題を理解し共有する

本研修の目的は、事故後の被害状況を理解し、風化させることなく、復興につなげていくことにある。一方、柏崎刈羽原発をめぐる情勢などは理解されていないことも多く、他の自治体議員などと原発政策を含めた現状や課題について意見交換できたことは大変有意義であった。こうした活動により、さまざまな地域や立場の方々が原子力発電所の課題を理解・共有していただくことに期待したい。

民社友愛

■ 5月30日(木)、7月18日(木)



九州電力川内原子力発電所

活動内容

- 日本自治創造学会研究大会(東京都千代田区)
- 川内原子力発電所視察(鹿児島県薩摩川内市)

民社友愛



日本自治創造学会研究大会

全国自治体の人口減少対策は、人口の流出をどう抑えるかという社会減対策に重点が置かれている。しかし、そのことによって若年人口を近隣自治体で奪い合うこととなり、ゼロサムゲームのような状況になっている。

人口規模の大きい自治体は自然減対策を、小さい自治体は社会減と自然減の両方の対策が必要であることなど、地域によっての特性や課題解決の違いが確認できた。

川内原子力発電所視察

川内原子力発電所は、柏崎刈羽原子力発電所とは異なるタイプの加圧水型軽水炉。すでに国の定めた新規制基準に適合していると認められ再稼働している。新規制基準に適合した現在でも新たな知見を基に、より安全な施設整備などさらなる安全性・信頼性の向上に取り組んでいることが地元住民の理解促進につながっていると感じた。



暮らしと笑顔*

(*) 会派に所属しない議員に政務活動費を交付する際に使用する名称であり、通常の会派ではありません。

■ 7月10日(水)



副館長(左)と

活動内容

- 東京おもちゃ美術館視察（東京都新宿区）

暮らしと笑顔



廃校を活用したおもちゃ美術館の調査

新宿区立四谷第四小学校は子どもの減少により廃校となり、建て替えた方が安いとのことだったが、地域住民からの強い要望により、校舎を生かすこととなった。校舎の半分は公民館、残り半分を住民からの依頼を受けたおもちゃ美術館を運営するNPO法人と、市民の芸術活動を推進する団体が使用している。耐震補強工事は区が負担し、美術館部分の改装費のみを運営法人が負担した。NPO法人としては特殊で、補助金や助成金をもらわず、賃貸料を区へ納め、入場料収入と美術館ファンからの寄付で黒字運営している。館内は木材を活用した温かでわくわくする空間であり、さまざまな玩具は展示だけでなく体験もできる。おもちゃ学芸員と呼ばれるボランティアスタッフの制度も素晴らしく、とても魅力的な施設である。柏崎市における廃校の利活用に明るい可能性を感じる視察であった。

柏盛クラブ

■ 7月18日(木)



新潟市教育委員会

活動内容

- 新潟市視察（中学校における休日の部活動地域移行）

柏盛クラブ



中学校の部活動地域移行

新潟市教育委員会では市内の各地域を回り、「これまで学校がスポーツや文化活動の機会すべてを確保してきたが、これからは無理なので、地域が子どもたちのために力を合わせていきましょう」という説明を行っている。同日に視察した新潟市立東石山中学校では、市教委の方針を受け、すべての部活動に保護者を立ち上げ、そこが活動の運営の主体になることを保護者に提案し、実現に向けた取組を行っている。ただ、東石山方式を他の学校が取り入れられるかどうかは難しいとも語っている。

今回の視察を受け、中学校の部活動地域移行については、教育委員会をはじめとする行政当局と学校現場や社会体育団体および地域や保護者のそれぞれの立場を理解するとともに、それらを網羅していける議員の立場で、柏崎方式なるものが確立できるように調査研究を継続していく。

自治研究会

■ 7月18日(木)



薩摩川内市役所

活動内容

- 鹿児島県薩摩川内市視察（地域戦略ビジョン、蓄電システム設置補助）

自治研究会



次世代エネルギーを活用したまちづくり

日本で初めて新規制基準に基づく原子力発電所の再稼働を開始した川内原子力発電所が立地する薩摩川内市において、現在推進されている次世代エネルギー政策とそれに基づく地域戦略ビジョンについての調査を行った。

次世代エネルギーの推進を通じてさまざまな地域の課題を解決することを目的とし、次世代エネルギーと既存エネルギーを含め、賢くつくり賢く使うことをテーマに検討され、推進してきていることを確認できた。

次世代エネルギー政策を所管する部署として経済シティセールス部産業戦略課が設けられ、実効性と価値のあるビジョンの策定に当たっている。プロジェクト推進のための予算を優先的に付けるとともに、国からの補助も積極的に受ける体制づくりを確認することができた。

日本共産党柏崎市議員団

■ 7月20日(土)～21日(日)



横浜市鶴見公会堂

活動内容

- 第66回自治体学校in神奈川

共産党



地方自治と地域 この1年から考える

今年の自治体学校は横浜市で自治体の議員や職員、学者・研究者などが集い、研修と交流を行った。

初日は①国政の動向、②国民生活はどうなるのか、③自治と公共性の再生、④地方政治が動く要件についての講演を聞いた。国政の動向によって地方自治体の行政運営と住民生活が大きく左右される事を改めて学ぶ場となった。

特に④地方政治が動く要件については、杉並区長選挙に見られるように、政治への不満を解消するためには選挙での投票率を上げること。それには女性と若者に政治に関心を持ってもらうこと、そのための工夫を、と強調されていた。

2日目は持田議員が「公共交通の改善・充実で地域づくりを」、五位野議員が「自治体財政の仕組みと課題」の分科会に参加し、それぞれの課題の解決方向を学んだ。



公明党

■ 7月22日(月)～23日(火)



玄海原子力発電所

活動内容

- 佐賀県唐津市議会意見交換
- 九州電力玄海原子力発電所視察 (佐賀県玄海町)

公明党



原子力災害避難計画、原発の安全対策・廃炉計画・地元理解

原発周辺自治体である唐津市議会は原発対策特別委員会を設けて、安全対策・地域振興策などの議論を深め、監視している。原子力災害避難計画に関しては令和6年能登半島地震を踏まえて国に避難道路の整備を要望しており、当市と同じ課題を抱えていた。

玄海原子力発電所では、立地状況特定重大事故等対処施設、緊急時対策棟設置の工事状況、使用済み燃料貯蔵対策などの説明を受けた。また、廃炉措置においては、計画に基づき、解体工事準備期間の汚染状況の調査が行われ、汚染のない設備の解体撤去工事が進行中である。

九州電力は自治体、各種団体や自治会長などへの訪問と見学会による地元理解の促進、諸審査の報告や訓練の状況などの情報公開により、信頼関係の構築に努めている。

柏崎の風

■ 10月9日(水)～11日(金)



トーサイクラシックホール岩手(盛岡市)

活動内容

- 全国市議会議長会フォーラム
- 株式会社銀河フーズ視察
- 花巻市視察 (移住定住の取り組み)
- 花巻おもちゃ美術館視察

柏崎の風



主権者教育

岩手県盛岡市において全国市議会議長会フォーラムが開催され会派として参加した。パネルディスカッションと先進自治体の事例を拝聴し、主権者として他者と連携・協働しながら、社会を生き抜く力と地域の課題解決を主体的に担う力を発達段階に応じて身に付けることは、現代社会において必要な教育である。また、選挙権年齢が満18歳以上に引き下げられ、模擬投票などを通して、自分の未来を選ぶこと、次世代を担う子どもたちが選挙、政治、身近な地方行政への関心を高めることが重要である。

議会でできることは、高校生会議や傍聴での議場の提供、依頼があれば議員の派遣などに協力すること。学校での主権者教育に時期を合わせることで、主権者教育の推進によって、どのように地域社会が変化し、課題解決につながるのか、中長期の調査研究が求められる。

ギカイのうごき

CHECK!

1

地震発生時の議会の対応を確認 ～議会災害時対応訓練を実施しました～

市議会では、議場での会議中に地震が発生したとの想定で災害時対応訓練を実施しました。

議場では、3つの安全行動、議席備え付けのヘルメット着用、議長による休会宣言と散会までの動きを確認しました。

その後、市議会グループウェアによる安否確認と議会災害対策支援本部全体会議の招集、Zoomを利用したオンライン会議への参加など、市議会災害時行動マニュアルの初動から初期までの動きを確認しました。

災害対応
訓練



議場を退出する議員



オンライン会議

CHECK!

2

常任委員会が政策提言を取りまとめる ～本会議で報告し、市長に提言しました～

総務・文教厚生・産業建設の各常任委員会がテーマを決めて取り組んだ調査・研究を政策提言書にまとめました。12月定例会議最終日の本会議で報告し、その後市長に提言書を手渡しました。提言の内容については、市議会ホームページとギカイのとびら200号の特集でお伝えします。

調査研究と
政策提言



左から副委員長3人、副議長、市長、議長、委員長3人

■文教厚生常任委員会が要望書を提出しました

J A新潟厚生連の経営危機に関して、文教厚生常任委員会は11月7日に柏崎総合医療センターと福祉保健部との意見交換会を行いました。12月20日には「新潟県厚生農業協同組合連合会柏崎総合医療センターにおける地域医療体制の維持に関する要望書」を市長に提出しました。

左から議長、市長、委員長、副委員長、委員5人▶

要望書
(PDF)



2月

定例会議の予定



変更の場合はホームページでお知らせします。本会議は午前10時に開会します。

日	月	火	水	木	金	土
2/16	17	18	19	20	21	22
	本会議 議案説明・質疑・付託	委員会・分科会 産業建設・文教厚生	委員会・分科会 総務	委員会 予算決算	本会議 委員長報告・採決 施政方針・議案説明	
23	24	25	26	27	28	3/1
	(振替休日)				本会議 代表質問 質疑・付託	
2	3	4	5	6	7	8
	委員会・分科会 (議案補足説明) 委員協議会・作業部会 (論点整理)	委員会 予算決算	本会議 一般質問	本会議 一般質問		
9	10	11	12	13	14	15
	本会議 (一般質問・予備日)	委員会・分科会 産業建設	委員会・分科会 文教厚生	委員会・分科会 総務	委員会・分科会 産業建設	
16	17	18	19	20	21	22
	委員会・分科会 文教厚生	委員会・分科会 総務	委員会 予算決算	(春分の日)	本会議 委員長報告・採決	



本会議・委員会は、どなたでも自由に傍聴できます。
インターネット中継でもご覧いただけます。
録画映像と会議録も公開しています。



議会日程

中継・傍聴・
会議録

■リンク先をデザインで区別しています

柏崎市HP

外部サイト

編集後記

本年は巳年である。ヘビは古くから神の使いと言われていたとともに、脱皮することから、復活、再生を意味するため、新しいことが始まる1年とも言われています。

日常生活においても、立ちはある壁があると思いますが、夢と希望を持ち、明日を創造しなければなりません。

一人でも多くの方々から「ギカイのとびら」を読み、議会の取り組みや議員の活動に興味を持っていただきたいと思います。

一人でも多くの方々から「ギカイのとびら」を読み、議会の取り組みや議員の活動に興味を持っていただきたいと思います。

議会広報広聴常任委員

阿部 基

次回発行は5月5日
お楽しみに

柏崎市議会

Q 検索

議会広報広聴常任委員会

委員長 星野幸彦
副委員長 三宮直人
委員

山崎智仁 三嶋崇史 近藤由香里
西川弘美 五位野和夫 相澤宗一
阿部 基 春川敏浩